

# 小学校 国語B 2二 正答率 33.2%

## 指導のねらい

分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことができるようにする。

## 課題の見られた問題の概要と結果

B2二 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く。正答率 33.2% (全国 26.9%)

特に多かった誤答類型は、まとめて書く際に敬体で書かれた二文を、常体で一文に書き換えることができなかったもので 12.0%であった。

## 学習指導要領における領域・内容

〔小学校第5学年及び第6学年〕 読むこと ウ

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔小学校第5学年及び第6学年〕 書くこと ウ

事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

## 授業アイデア例

例

「〇〇リーフレットを作ろう」という単元を設定し、リーフレット形式に合わせて、集めた情報を関係付けながら記述させる中で、文と文をつなぐ様々な方法を考える。

### 第一次

○ 教師の作った日本の文化紹介リーフレットを読み、リーフレット作りに興味をもち、学習計画を立てる。

### 第二次

○ 収集した資料の中から必要な情報を抜き出し、文と文をつないでまとめ、リーフレットに掲載するオリジナル説明文を作る。  
その中で、文と文をつなぐ様々な方法について話し合う。

### 第三次

○ 作った説明文を読み合うとともに学習を振り返る。

：①ある外国人は、「日本人に道を聞いたら、必ず教えてくれる。自分が分からなかったら、ほかの人に聞いてくれる。」と、・・・また、②トイレの美しさにも感動するそうです。清潔に保たれているだけでなく、花が飾ってあったり、はきものがすぐ使いやすいうようにそろえてあったりするからです。③和食のレストランに入ったときには、季節を感じさせる料理や食器などにも、感動するそうです。

情報の取り出し

①の文 + ②の文 + ③の文

※複数の情報を付箋に書き出して、集めた情報を関係付けせるなどの方法が考えられます。

取り出した複数の情報をそのまま写すのではなく、リーフレットに合ったまとめ方にする必要があります。どうすれば取り出した文と文をうまくつなぐことができるでしょうか。



「〜たり」を使うと文と文をつなげられると思います。



文と文のつなぎ方のコツ

- 方法① 「〜たり、…たり」を使う。
- 方法② 「〜や」を使う。
- 方法③ 「〜も、…も」を使う。
- 方法④ 「〜こと、…こと」を使う。

リーフレットの1部

外国人は、道を聞いたら教えてくれたり、トイレが清潔に保たれていたりする日本人の親切な心に感動するそうです。  
また和食のレストランで季節を感じさせる料理や食器を出してくれたりすることなどの日本人の親切な心に感動するそうです。

文と文のつなぎ方を取り上げて指導するだけでなく、様々な言語活動の中で指導しましょう。  
推敲の場面などで指導するのも効果的です。

